

高校日本史プリント（過去問類似）

日本史B（旧課程の過去問） No.10

名前

得点

/11

問1 明治初期の自由民権運動において、自由党や立憲改進黨などの民権派に対抗するため、福地源一郎らが結成した、天皇主権の憲法制定を支持し政府を擁護する立場をとった保守的な政党は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 立憲政友会 2. 立憲改進黨 3. 立憲自由党 4. 立憲帝政党

問2 太平洋戦争末期、大都市への空襲による被害を避けるために、都市の小学生らを地方へ集団で移住させるなどして、都市人口の急激な減少の一因となった政策を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 勤労働員 2. 配給制度 3. 学童疎開 4. 建物疎開

問3 第一次世界大戦期、ヨーロッパ諸国がアジア市場から後退したことを背景に、日本の軽工業製品はアジア市場へ急速に進出した。この時期、日本の紡績企業が安価な労働力や原料を求めて中国現地に工場を建設し、生産を行う動きが活発化したが、このような中国進出を遂げた日本の紡績資本やその現地工場を総称して何と呼ぶか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 兌換券 2. 在華紡 3. 金解禁 4. 配給制

問4 室町幕府の地方支配体制が揺らぐなか、戦国大名の中には、南北朝時代以来の伝統的な支配権を背景に、そのまま領国を掌握して戦国大名へと脱皮・成長を遂げた家系が存在した。このような出自を持ち、駿河国を本拠地として領国支配を広げた代表的な一族を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 大友氏 2. 今川氏 3. 島津氏 4. 武田氏

問5 第二次世界大戦後の1950年、隣国の朝鮮半島で発生した武力衝突は、東アジアにおける東西冷戦の緊張を極限に高めた。この事態を受けて、占領下の日本国内ではGHQの指示により警察予備隊が創設され、また米軍への物資調達に伴う経済的活況がもたらされた。この戦後日本の治安・経済政策に多大な影響を与えた戦争は何か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 中越戦争 2. 国共内戦 3. 中東戦争 4. 朝鮮戦争

問6 明治政府が神仏分離令を出したことを契機として、全国各地で激化した、寺院の破壊や仏像・仏具の処分を行う一連の排仏運動を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 大教宣布 2. 廃仏毀釈 3. 護法運動 4. 排耶運動

問7 江戸幕府が禁教政策を徹底するために導入した、民衆を特定の仏教寺院に所属させてキリシタンでないことを証明させた制度を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 寺檀制度 2. 本末制度 3. 五人組制 4. 寺請制度

問8 江戸時代初期、徳川家康は西国大名や豪商らに朱印状を与えて海外渡航を奨励した。この時期、京都の商人であり、日本に漂着した前フィリピン総督の送還を機に、通商を求めてノビスパン（メキシコ）へ渡った人物は誰か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 田中勝介 2. 山田長政 3. 支倉常長 4. 浜田弥兵衛

問9 桃山時代に、来航したヨーロッパの船や、宣教師・商人らの風俗を、狩野派をはじめとする日本の絵師が伝統的な金碧画の技法を用いて描いた絵画を何というか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 楓図壁画 2. 桜図壁画 3. 南蛮屏風 4. 唐獅子図

問10 戦国大名である織田信長は、尾張から勢力を広げて天下統一へと乗り出した。信長が駿河の今川氏を破ったのち、足利義昭を奉じて京都へ入った。その後、三河国において徳川家康と連合し、甲斐の武田氏の軍勢を多数の鉄砲を用いて破った。この、武田勝頼の軍を破った戦いの名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 姉川の戦い 2. 長篠の戦い 3. 山崎の戦い 4. 厳島の戦い

問11 自由民権運動期の思想家である植木枝盛が起草した私擬憲法で、一院制や徹底した人民主権、さらには政府に対する抵抗権や革命権を規定したことで知られる憲法草案は何か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 五日市憲法草案 2. 交詢社憲法案 3. 日本憲法見込案 4. 東洋大日本国国憲案

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 4 立憲帝政党	自由民権運動の激化に伴い、民権派の自由党や立憲改進黨が結成されると、これらに対抗して政府を支持する勢力も組織化された。1882年、東京日日新聞の福地源一郎らは、天皇主権の憲法制定を主張し、政府の政策を擁護する立場からこの政党を結成した。しかし、政府自体の超然主義的な姿勢や民権派の勢いに押され、同党は翌年に解散へと追い込まれた。
問2	答え 3 学童疎開	太平洋戦争末期の1944年から、政府は大都市の国民学校初等科児童を地方の寺院や旅館などに集団で移住させる政策を実施した。これにより、東京や大阪などの大都市人口は一時的に激減した。戦後はこれらの帰還や引き揚げにより、1950年代のうちに人口は戦前の最高水準を大きく上回るまでに急速に回復した。
問3	答え 2 在華紡	第一次世界大戦中、ヨーロッパ諸国がアジア市場から後退したため、日本の綿製品の輸出が急増した。これに伴い、日本の紡績資本は中国市場での競争力を維持・強化するため、現地に工場を建設して生産を行うようになった。これを在華紡と呼び、戦後の関税自主権の部分的回復や中国での民族運動（五・三〇運動など）の標的となるなど、大正から昭和期にかけての東アジア情勢に大きな影響を与えた。
問4	答え 2 今川氏	戦国大名には様々な出自の者が存在する。駿河の守護であった家系からそのまま戦国大名へと成長したのが今川氏であり、同様の例として甲斐の武田氏が挙げられる。これに対し、北条早雲（伊勢宗瑞）のように素浪人から台頭した者や、毛利元就のように在地の領主（国人）から成長した者もあり、出自による分類は戦国大名の性格を理解する上で重要である。
問5	答え 4 朝鮮戦争	1950年6月に勃発したこの戦争は、在日米軍の出動に伴う日本国内の防衛力空白を埋めるため、警察予備隊（後の自衛隊）の創設を促した。また、米軍からの軍需物資の注文（特需）は、戦後の日本経済が復興する大きな足がかりとなった。
問6	答え 2 廃仏毀釈	神仏分離令は神道と仏教の区別を命じたものであったが、これが地方の役人や民衆の間で仏教排除の命令と誤解・拡大解釈され、全国的な廃仏毀釈運動へと発展した。これにより、多くの由緒ある寺院や貴重な仏像、経典などが破壊・散逸する被害を受けた。
問7	答え 4 寺請制度	江戸幕府はキリスト教の信仰を禁止するため、民衆を特定の寺院（檀那寺）に所属させ、その寺院にキリシタンではないことを証明させた。この仕組みを寺請制度と呼ぶ。これにより、すべての民衆はいずれかの仏教寺院の檀家となることが義務づけられ、幕府による民衆統制の基盤となった。
問8	答え 1 田中勝介	1609年に上総国に漂着した前フィリピン総督ドン・ロドリゴらを送還するため、徳川家康は京都の商人である田中勝介らをノビスパン（メキシコ）へ派遣した。これは日本人が太平洋を横断した初期の事例であり、通商交渉を目的としていた。
問9	答え 3 南蛮屏風	桃山時代には、南蛮貿易の進展に伴い、ヨーロッパの文化が日本に流入した。この時期に、来航した南蛮船や南蛮人の風俗、キリスト教の宣教師などを、狩野派をはじめとする日本の絵師が金箔を多用した伝統的な技法で描いた作品群を南蛮屏風と呼ぶ。これらは西洋人画家ではなく、日本の絵師によって描かれたものである点が特徴である。
問10	答え 2 長篠の戦い	織田信長は1560年の桶狭間の戦いで今川義元を破り、1568年には足利義昭を擁して上洛を果たした。その後、1575年に三河国の長篠城をめぐり、徳川家康とともに武田勝頼の軍勢と対峙した。この戦いにおいて、信長は鉄砲隊を組織的に用いて武田の騎馬隊を破り、天下人としての地位を固めていった。
問11	答え 4 東洋大日本国国憲案	明治初期の自由民権運動期には、民間において独自の憲法草案（私擬憲法）が数多く作成された。植木枝盛が起草したこの草案は、一院制や徹底した人民主権を掲げ、政府が国民の権利を侵害した場合には抵抗権や革命権（顛覆権）を行使できるとする、当時としては極めて急進的かつ民主的な内容を含んでいたことで知られる。